

# 全圧連会報

第 58 号  
2020.1



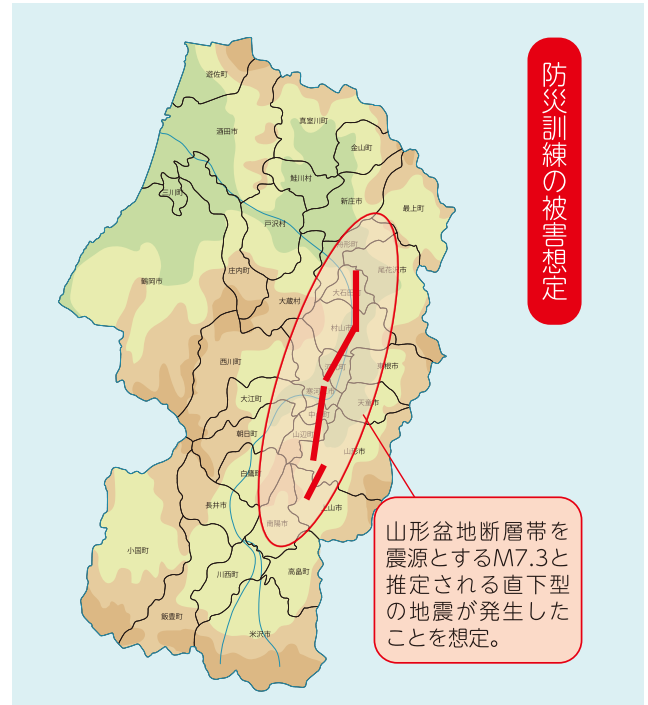
## contents

圧送業の防災に向けた取組み	1
登録基幹技能者 登録講習・試験を開催	3
登録基幹技能者更新講習を開催／活用状況	4
建設マスター・ジュニアマスターが誕生	5
全圧連主要会議報告	7
若手幹部研修会を開催	8
平成 30 年度経営実態アンケート調査報告書を発表	9
建専連全国大会を開催／全圧連福祉共済制度のご案内	10
全圧連の動き・今後の主な予定	11

### 山形県コンクリート圧送協会の防災に向けた取り組み

山形県コンクリート圧送協会では、2017年に山形市、2018年に天童市と「災害時における消防活動応援に関する協定」を締結しています。この協定は、山形中央生コンクリート協同組合と山形県コンクリート圧送協会が合同で、自治体と締結した三者による協定であり、二つの団体が合同で協定を結ぶのは新たなケースと注目を集めています。

自治体が開催する総合防災訓練に2017年から毎年参加しており、2019年9月1日の山形県・山形市合同総合防災訓練では、市内の自主防災組織や関係機関など約70団体（約1,700人）が見守る中、山形中央生コンクリート協同組合はミキサー車で水を4,000ℓ運び、山形県コンクリート圧送協会がその水をコンクリートポンプ車（36mブーム車）で放水しました。また、コンクリートポンプ車のブーム先



端から消防用ノズル（セフカンソー）を使用した放水訓練は全国初の試みとなり、放水が始まると会場内から大きな歓声が上がりました（表紙写真参照）。

訓練内容は、1995年（平成7）1月の阪神淡路大震災級を想定。①火災が発生し、②消火活動を行うが延焼が拡大し、③消火栓も破損したため水利の確保が困難となり、④民間の協定団体へ消火活動を要請する、などを想定して行われました。





## 災害・事故への圧送業界の支援・協力



### 博多駅前陥没事故における流動化処理土圧送による復旧工事

2016年（平成28）11月8日に、福岡市のJR博多駅前で発生した大規模な道路陥没事故を受け、全圧連会員の圧送会社ら数社が復旧作業への協力を行いました。この復旧作業では、陥没直後から5日間、昼夜にわたって約3,400m<sup>3</sup>の流動化処理土による埋戻しを行い、早期復旧に大きく貢献いたしました。

また、本復旧作業につきましては、2018年2月に開催した第1回全国圧送技術大会の中で報告が行われました（大会の論文報告集につきましては、全圧連ホームページよりダウンロードできます）。



### 福島第一原発事故でのコンクリートポンプ車による災害支援活動

2011（平成23）年3月11日に発生した東日本大震災による、東京電力の福島第一原子力発電所の未曾有の事故を受け、全圧連会員の圧送会社、および賛助会員の建設機械メーカー会社より提供を申し出た、50m超のロングブームを有するコンクリートポンプ車が、原子力発電所の使用済み燃料プールへの注水作業を行いました。

また、原子力発電所内を復旧するためのコンクリート工事でも、全圧連会員の圧送会社が作業を行っています。



出典：東京電力ホールディングス

近年、大地震や大雨、台風などといった自然災害による被害が大きな社会問題となってきています。これに対し、公的機関も積極的な対応に努めていますが、市民自らの対応も不可欠です。自治会やNPOが自主的に防災対策に取り組む事例も増加していますが、特に我々建設業者のような地元に根ざした事業活動を行っている企業は、いわゆるCSR(Corporate Social Responsibility=企業の社会的責任)の一環として積極的に防災への活動に協力することが望まれています。また、全圧連会員(単協)と、自治体の防災協定が締結されるなど、地域社会への貢献に向けた取組みが広がりつつあります。

#### 自治体と全圧連会員（単協）間の災害協定

自治体	締結した会員	協定名
山形市・天童市	山形県コンクリート圧送協会 山形中央生コンクリート協同組合との三者協定	災害時における消防活動応援に関する協定
東京都	東京都コンクリート圧送協同組合	災害時におけるコンクリート圧送車等での応急対策業務に関する協定
三重県・四日市市	東海地区コンクリート圧送有限責任事業組合	災害時におけるコンクリートポンプ車等の活用に関する協定



## 新たに40名の登録コンクリート圧送基幹技能者が誕生いたしました。 令和元年度 登録コンクリート圧送基幹技能者 登録講習・試験 実施報告

2019（令和元）年8月24日（土）～27日（火）、富士教育訓練センターにおいて、令和元年度の登録基幹技能者登録講習が実施されました。本講習は、国土交通大臣の認可を受け、建設業法施行規則に基づく登録講習として実施しています。

講習会開講式では、登録コンクリート圧送基幹技能者認定委員会委員長・栗田守朗氏（清水建設（株）・土木技術本部担当部長）より、「これまでの経験に、今回の講習で得た知識をプラスして、より高い技術を持った登録コンクリート圧送基幹技能者として活躍してもらいたい」との挨拶がありました。

最終日の8月27日（火）には認定試験が開催され、厳正な審査の結果40名が合格し（合格率59.7%）、10月31日付で「登録コンクリート圧送基幹技能者講習修了証」が交付されました。新たに登録基幹技能者として認定された方々は、（一財）建設業振興基金ホームページ内の「登録基幹技能者データベース（<http://www.yoi-kensetsu.com/kikan/index>）に登録されております。

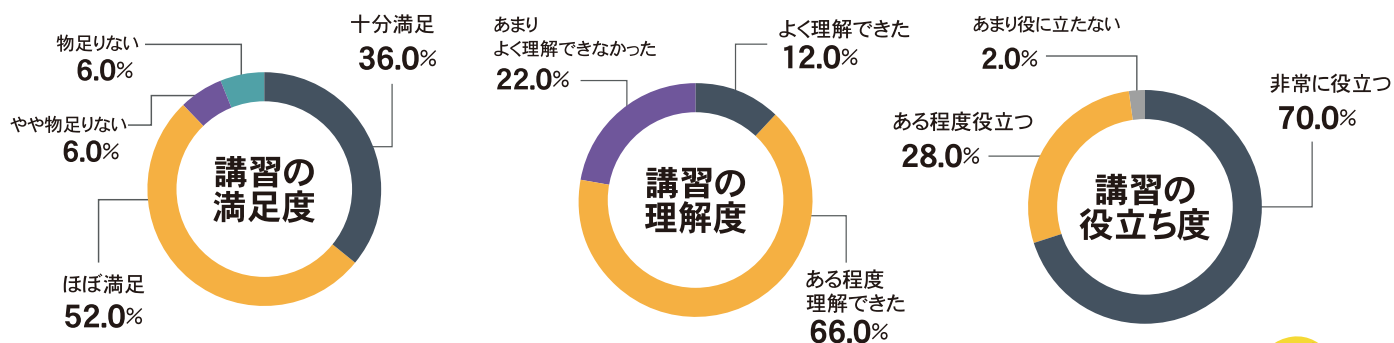
本年度の合格者を含めこれまでに874名の登録コンクリート圧送基幹技能者が現場で活躍しています。



登録講習の様子



### 登録コンクリート圧送基幹技能者登録講習・試験受講者アンケートより



実際の現場での作業と座学とでは、同じ場面のことを指していたとしても捉え方や感じ方が異なりますが、様々な角度からもたらされる知識や発想が、これまでの自分では持ち得なかった知恵に結びつきました。少ない時間で多くのことを教えていただき本当にありがとうございます。全国の圧送業者が集まる機会は少ないため、運営の方々からの後押しで、コミュニケーションをとれる場を作っていただけならと思います。

コンクリートポンプのオペレータとして良い勉強になりました。今後も、先人たちが残してくれた『コンクリート圧送マニュアル』で勉強し、登録コンクリート圧送基幹技能者として、安全で品質の良いコンクリート構造物を、誇りをもって後世に残せるよう、また、次の世代を担う後輩たちに、自分の仕事を誇れる人物に育てることができるような基幹技能者になりたいと感じました。

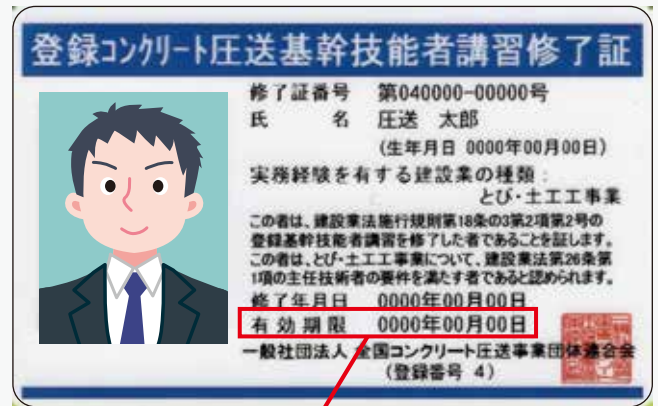


## 登録コンクリート圧送基幹技能者 更新講習を3会場にて実施しました。 本年度は152名が更新を修了。

登録コンクリート圧送基幹技能者をはじめとする登録基幹技能者制度は、建設業法施行規則に基づく国土交通大臣認可による資格制度であり、登録基幹技能者としての知識と能力を担保するため、5年に1度の更新講習を行うことが定められています。

2019（令和元）年度は、東京（10/5）・大阪（10/12・12/22）・福岡（10/26）の3会場・計4回開催し、計152名の方が受講・修了いたしました。

2020（令和2）年度の講習は、8～10月に複数回の開催を予定しております。対象となる方には追ってご連絡いたしますが、修了証の有効期限を半年過ぎると再度認定試験を受験していただくこととなりますので、期限内に必ず更新講習を受講されるようお願いいたします。



2020(令和2)年度の更新講習は、  
有効期限が **2020・2021年度**の方が対象です  
(平成表記の方は、**平成32・33年度**が対象)

## 都道府県・政令都市における登録基幹技能者の活用状況

発注機関	総合評価落札方式の評価項目に設定した工事件数					評価方法		
	H25	H26	H27	H28	H29	評価項目	配点	
都道府県	北海道	196	138	159	211	227	担い手の育成・確保	0.5点
	秋田県	—	—	—	7	166	登録基幹技能者の配置	2点
	茨城県	—	—	317	303	500	地域貢献度	1点
	神奈川県	3	6	1	4	6	企業の社会性・信頼性	1点
	新潟県	—	4	7	6	6	企業の技術力	0.5点
	富山県	2	2	9	15	10	登録基幹技能者の配置	5点
	長野県	10	8	15	16	45	技術者要件	0.5点（最大1.5点）
	静岡県	2	7	49	61	38	企業の施工能力	1
	三重県	—	—	—	2	2	企業の施工能力	5点（最大15点）
	滋賀県	22	74	58	83	33	技術者等の能力	1点
	京都市	13	29	10	12	5	登録基幹技能者の活用	1点
	大阪府	13	32	20	12	21	企業の施工能力	0.3点（最大0.9点）
	島根県	—	3	15	12	9	地域貢献度	1点
	徳島県	—	—	—	22	17	企業の施工能力	2点
	高知県	—	—	—	—	—	地域性・社会性	5点
	長崎県	113	116	90	103	122	企業の施工能力	0.1点（最大0.6点）
熊本県	—	4	10	11	23	企業の施工能力	1点（型式により0.5点）	
大分県	—	178	157	232	242	配置予定技術者の能力	0.2点	
沖縄県	—	—	—	40	81	企業の能力等	1点	
政令指定都市	札幌市	—	—	5	5	43	企業の評価	0.5点
	仙台市	—	—	138	136	131	企業の技術的能力の評価	1点
	相模原市	—	—	—	—	38	企業の社会性・信頼性	0.5点
	静岡市	45	50	54	56	85	企業の社会性・信頼性	1点
	熊本市	—	—	—	—	118	企業の評価	0.5点

### 登録コンクリート圧送基幹技能者の都道府県別所在状況（会社住所を基準・2020年1月現在）

北海道	青森	秋田	岩手	山形	宮城	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜	静岡	
31	16	8	15	39	12	11	20	12	17	36	29	16	32	7	5	6	10	10	7	44	36	
愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	岡山	鳥取	島根	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	
58	34	16	20	61	62	15	14	2	4	16	13	8	6	3	14	4	25	10	19	3	7	
宮崎	鹿児島	沖縄	全国計																			
10	15	17	874																			



## 令和元年度優秀施工者国土交通大臣顕彰式典

## 3名の建設マスター・2名の建設ジュニアマスターが誕生しました。

令和元年度の優秀施工者国土交通大臣顕彰式典がメルパルクホール(東京都港区)で開催され、全圧連の会員企業から3名が建設マスターとして、赤羽一嘉国土交通大臣より顕彰されました。

この顕彰制度は、建設産業の第一線で「ものづくり」に従事する建設技能者のうち、特に優秀な技能・技術を持ち、後進の指導・育成等に多大な貢献をしている方を平成4年度より「優秀施工者国土交通大臣顕彰(建設マスター)」として表彰し、優秀な技能者の社会的地位や評価の向上につなげることを目的に取り組んでいます。

また、優秀な技能・技術を持ち、今後さらなる活躍が期待される青年技能者の方々に「青年優秀施工者土地・建設産業局長顕彰(建設ジュニアマスター)」として顕彰しており、本年度は全圧連の会員企業から2名の方が顕彰されました。



顕彰式典の様子 (写真提供：建設通信新聞社)

ご受賞された皆さまに、「これまでの仕事で大変だったこと」、「やってきて良かったこと」、「受賞の喜びを伝えたい相手」、「これからの仕事にける思いについて、インタビューにお答えいただきました。

### 建設マスター受賞者



#### 加藤栄司氏 株式会社 旭川生コンサービス (北海道)

##### これまでの仕事で大変だったこと

打設作業中、現場担当者に急に打設順の変更を求められ、現場担当者と生コン打設を担当する主任技術者の意見が対立し打設が中断し、双方から意見を求められ、これまで培ってきたオペレーターとしての経験を通じた意見を説明して、双方が理想とする段取りに共通点を見つける難しさを経験しました。そんなときが一番大変でした。

##### やってきて良かったこと

現場側から無理のあるポンプ車の配置や打設内容を提示され、現場・関連業者・圧送業者の3者による検討を重ね、あらゆる手法を提示した上で打設計画を立てました。打設当日の緊張感や打設終了時の達成感もありますが、所長に「ありがとう」と言われたときが一番最高です。この仕事をやっていてよかったと思います。

##### 受賞の喜びを伝えたい相手

北海道コンクリート圧送協同組合・事務局の三浦様のご尽力で建設マスターを受賞できたことにまずお礼を申し上げますと共に、当社の社長、私を支えてくれた従業員に感謝を申し上げます。建設マスターは自分1人では成し遂げられないと思います。同僚に感謝！

##### これからの仕事にける思いについて

普段と何も変わらずです。地道に現場と向き合い、技術提案を通して、より環境に配慮した品質の良い構造物を提供する。後進の育成に励み、次世代の建設マスターを育成したいです。即ち、有言実行！！



#### 佐々木重光氏 山孝建材 株式会社 (宮城)

##### これまでの仕事で大変だったこと

夏は暑く冬は寒い中、休憩が取れないことがあります。東日本大震災の直後は生コンの供給も少ない中で打込み高さのある柱や壁へ高品質な圧送を行うため、検討を何度も行いました。また、入念な事前打合わせによる打設計画も、当日の状況によって変更しなければならず、そうした場合でも品質の良いコンクリートを圧送するために対応していかなければならないことは、圧送業の大変さだと思います。

##### やってきて良かったこと

自分が携わった現場が無事完成し、得意先の方々に礼の言葉を言われたときは、達成感を感じます。

### ? 受賞の喜びを伝えたい相手

今回の受賞は得意先の方々や、会社の同僚、そして家族に伝えたいです。

### ? これからの仕事にける思いについて

今後も、品質の良い構造物、安全な圧送工事を追求し、技術・技能をより向上させながら建設業界に貢献していきたいと思っています。



#### 井浦之充氏 株式会社 高見澤

### ? これまでの仕事で大変だったこと

災害復旧の現場で夏場の夜間に約 850m の配管作業を行いそのまま打設、朝から次の現場に行く。一番辛く、眠気を感じる中での作業でした。

### ? やってきて良かったこと

この仕事はきついことだらけですが、現場で他職種の方たちと仲良くなったり、自分の仕事の手順が評価されたり、現場の所長に次も指名するよ！などと言われたときなど嬉しかったことは数多くありますが、自分の手掛けたビルやダムが形になって残っていくこと、それをいつまでも見られることが一番嬉しいです。

### ? 受賞の喜びを伝えたい相手

今回の受賞は、朝早くに家から送り出してくれる妻と子供たち、また会社の同僚や会社の上司に対しての感謝の気持ちでいっぱいです。

### ? これからの仕事にける思いについて

圧送工事に関する技術は日々進化しています。その中で高度な技術を勉強し、後進の指導や、安全・質の高い仕事をし、今後も圧送業に取り組んでいきたいです。

## 建設ジュニアマスター受賞者



#### 上田益生氏 近圧ポンプ 株式会社

### ? これまでの仕事で大変だったこと

近年の夏は異常に感じるほど暑く、冬は極寒になり辛く感じるが多々あります。こうした季節の影響が強い中での長距離圧送や高層打設は、前日から心配で寝付けないこともあります。

### ? やってきて良かったこと

難しい条件の中でスムーズにやりきった作業後は、すがすがしい気持ちになります。また、家族で出かけたときに自分が圧送したマンションなどを見ると自慢し、ポンプ車の機種や打設方法を会話に交えると興味を持って聞いてくれるので、やってよかったと実感します。

### ? 受賞の喜びを伝えたい相手

朝、気持ちよく送り出してくれる家族に一番に伝えたいです。そして私を支えて協力してくれる同僚たちに感謝しています。

### ? これからの仕事にける思いについて

これからの建設工事は様々な分野において技術が進歩するでしょう。その進歩に追い付いていけるよう、これからも探求・研究を重ね、精進していこうと思います。



#### 井戸川義晃氏 栄和工業 有限会社

### ? これまでの仕事で大変だったこと

真冬に 24 時間連続打設をしたときはとても大変でした。

### ? やってきて良かったこと

他職種の職人の方と交流を持てたことがよかったです。

### ? これからの仕事にける思いについて

今後も、これまでどおり丁寧に作業を行っていきたいと思います。

## 第59回経営委員会を開催

第59回経営委員会が7月19日（金）、フォーポイントバイシェラトン函館（北海道）にて開催されました。

会議では、令和元年度事業計画、経営実態調査の中間集計状況報告、特定技能外国人材の受入れ事業の進捗状況と訓練・試験に向けた課題、外国人労働者向けの安全衛生教育教材の作成、全圧連および圧送業のブランディング事業などについて審議が行われたほか、各単協の状況報告と意見交換、経営実態調査の回答率向上に関する意見交換が行われました。



経営委員会の様子

## 第21回事務局長会議を開催

第21回事務局長会議が9月13日（金）、ホテルメロポリタン長野（長野）にて開催されました。

会議では、全圧連の各種講習会の提出書類の変更点に関する説明のほか、特別教育修了証の統合化に関する変更点、修了証発行手数料の改定検討、大規模災害の発生を想定した全圧連・各単協の運営に関する事項、経営実態調査の回答率向上に関する各単協の取組み、人材確保等支援助成金制度の活用等に関して協議が行われたほか、各単協の事務運営に関する意見交換が行われました。



事務局長会議の様子

## 第66回技術委員会を開催

第66回技術委員会が11月15日（金）、山形グランドホテル（山形）にて開催されました。

会議では、令和元年度技能検定対策について、特定技能外国人受入制度への対応について、建設キャリアアップシステムに伴う能力評価基準の策定について、各種特別教育修了証の統合化と発行料設定について、次年度からの安全・技術講習会カリキュラムおよび特別教育再教育の講習テーマについて、中流動コンクリート施工指針への委員参画について、第2回全国圧送技術大会およびRCエキスポ（全鉄筋主催・仮称）について、各種アンケート調査への協力依頼等について審議が行われました。

また、議事終了後に、全圧連前会長（現相談役）・（株）ヤマコン会長 佐藤勝彦氏より、「圧送のあゆみ」と題した講演をいただきました。



現場見学の際の集合写真



佐藤勝彦氏による講演の様子



# 第22回 若手幹部研修会を開催

## 第22回 若手幹部研修会を開催

第22回若手幹部研修会が11月8日～9日、マイステイズプレミア札幌パーク、およびホテルノースシティ(いずれも北海道札幌市)にて37名の参加により開催されました。

この研修会は、コンクリート圧送業界の次代を担う若手幹部の方々に、コンクリート圧送工事業の現状と課題を理解し、新しい視点から業界の将来像を展望することを目的として、平成10年から毎年開催しています。

第1日目は、NACマネジメント研究所 所長・特定社会保険労務士 小林弘和氏より、「働き方改革関連法への実務対応」と題し、働き方改革関連法の概要、企業が対応すべきポイント、36協定の様式改定について、同一労働同一賃金の考え方や対応方法などについて講義が行われました。

続いて、日本大学理工学部建築学科教授 中田善久氏、ならびに日本大学理工学部建築学科助手 宮田敦典氏より、「コンクリートポンプに関する各学協会および研究の動向」と題し、コンクリートポンプに関連する各学会・協会の動向のほか、全圧連が平成11～28年度に作成した圧送に関する「事故報告書」の分析による事故の原因と対策、各種アンケート調査結果の分析結果等に関する講義が行われました。

2日目は、(株)今ここで 今ここで今 代表取締役 鈴木秀俊氏より、「今ここで 今ここで今」と題し、健康管理と人材育成論に関する講義が行われました。

若手幹部研修会は継続開催を予定しております。皆さまの奮ってのご参加をお待ちしております。



研修会の様子（講師：小林弘和氏）



研修会の様子（講師：中田善久氏）



研修会の様子（講師：宮田敦典氏）



研修会の様子（講師：鈴木秀俊氏）



研修会の様子（講師：鈴木秀俊氏）

# 平成30年度 経営実態アンケート調査報告書を発表

全圧連経営委員会は、平成31年4月から令和元年7月にかけて実施した、平成30年度経営実態アンケート調査結果報告書を発表しました。今回の調査では、全国の会員圧送会社のうち264社（58.3%）から回答を得る高い回答率を達成することができました。

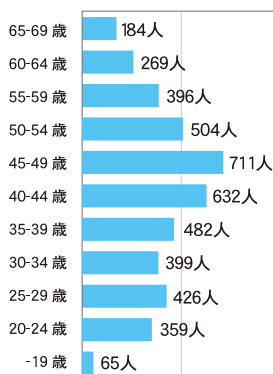
**圧送従事者数**は、前年比0.5人増の11.1人。年代別の構成比率では、29歳以下の割合が全体の19.2%の850人（図①参照）。外国人実習生および特定活動外国就労者の人数が計401人まで増加していることから、若年者層のうち約半数弱が外国人材であることがうかがえます。

昨年度調査まで減少傾向にあった**1社あたりの平均年間コンクリート圧送量**は、平成26年度以来の生コン出荷量の対前年比

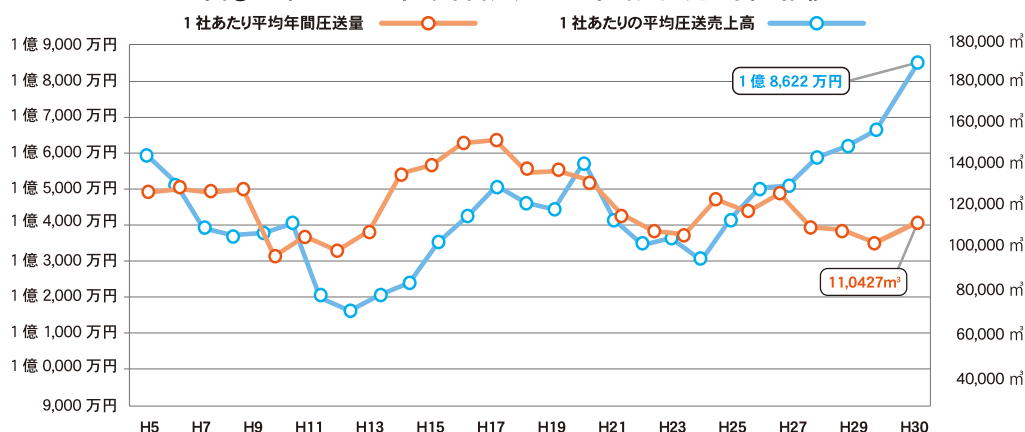
平成30年度の主な調査項目結果

1社あたり圧送従事者数	11.1人
圧送従事者の平均年齢	42.7歳
1社あたり年間圧送売上高	1億8,622万円
1人あたり年間圧送売上高	1,409万円
1社あたり年間コンクリート圧送量	11万427m <sup>3</sup>
1稼働あたりコンクリート圧送量	72.9m <sup>3</sup>
1m <sup>3</sup> あたり売上高	1,952円
1m <sup>3</sup> あたり労務費	664円
1m <sup>3</sup> あたり圧送経費	341円
圧送従事者の年間給与手当	443万円
10年以上経過のポンプ車の割合 (うち15年以上経過車)	49.8% (31.8%)

図① 圧送従事者年齢の構成比率



図② 1社あたりの平均年間圧送量・平均圧送売上高の推移

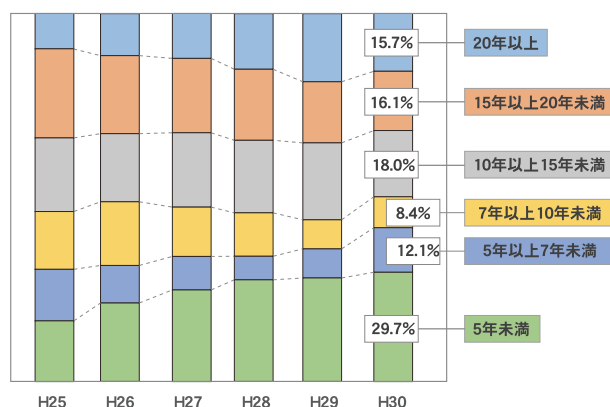


増の影響を受け、11万427m<sup>3</sup>と増加(前年比7,523m<sup>3</sup>増)。1社あたりの平均圧送売上高(年間完成工事高)の、1億8,622万円と、圧送量増加の影響を受け、大幅な増加となりました(図②参照)。この売上の増加分については、後述のとおり、従業員の給与の上昇等の待遇面の向上や機械(ポンプ車)の更新等の設備投資に向けられており、人材確保・担い手確保、施工力の向上に繋がっていることが見受けられます。

**圧送従事者の年間給与手当総額**は、登録基幹技能者クラス(経験15年以上)は約537万円、圧送施工技能士1級クラス(経験10年以上)では約477万円、圧送施工技能士2級クラス(経験5年程度)では、約422万円と、昨年度調査に引き続きすべてのクラスで上昇が見られました。

**保有するコンクリートポンプ車の車歴**について、過去より「10年以上経過車」の割合が多く、近年は過半数を超える割合を占めていましたが、本年度調査では計49.8%まで減少する一方で、近年増加傾向にある「5年未満」のポンプ車は本年度調査でも増加が見られ29.7%となり、徐々に設備更新が進んでいることが見受けられました(図③参照)。

図③ 過去6年間の保有コンクリートポンプ車の車歴について



会員企業の皆さまからご協力をいただいておりますの経営実態アンケート調査は、コンクリート圧送業界の実態を示す唯一の貴重な資料となります。本調査結果はさまざまな事業に活用させていただきます。

「平成30年度経営実態アンケート調査報告書」は、会員各社にお送りしているほか、全圧連のホームページからもダウンロードができます。



# 建専連 全国大会を開催

全圧連ほか建設専門業38団体で組織する（一社）建設産業専門団体連合会（略称：建専連、才賀清二郎会長）は、「魅力ある建設産業に向けて～担い手確保のために専門工事業をどう変えていくか～」を大会のテーマに掲げ、令和元年11月13日、ニッショーホール（東京都港区）にて令和元年度全国大会を開催しました。

開会挨拶で才賀会長は、「我々に課されている使命は、担い手確保のために専門工事業者をどう変えていくかである。我々が率先して働き方を変えていき、若者に入ってもらえる魅力ある建設産業にしていくことだ」と述べました。

また、赤羽一嘉国土交通相は来賓挨拶で、「視察した被災地で建設業者が自ら被災しながらも復旧に当たっている姿を目の当たりにし、被災自治体の首長も建設業への感謝を語っていた。建設業が新3Kの魅力的な産業となるよう取組みをさらに加速させる必要がある。労務単価引き上げの効果が行き渡るよう、元請を含めた業界全体で取組みを支援していきたい」と述べました。

大会では、建設業振興基金の佐々木基理事長が「これからの専門工事業と建設技能労働者」、亜細亜大の大久保俊輝特任教授が「人は嬉しくて、会いたい人が居るところに集まる」と題してそれぞれ講演が行われました。



建専連全国大会の様子

# 全圧連福祉共済制度

ぜひご加入ください

## 制度の特徴

- ①お手頃な掛金で大きな保障
- ②業務上・業務外を問わず 24 時間保障
- ③医師の審査はなく告知書扱いで加入可能

制度の内容、加入申込み方法については、**全圧連事務局へお問い合わせ下さい**

草野球の試合中、  
転倒して骨折、  
15日間入院しました



不慮の事故による入院の場合、  
1口につき 1,500 円を入院日数  
分(120日限度)給付します。

★全圧連福祉共済制度は、平成4年12月に発足し、今日まで名実ともに全国の全圧連会員の相互扶助による共済制度として運営しており、現在180社、1361名の会員の皆さまに加入いただいております。

全圧連福祉共済制度は、会員企業の共同救済＝相互扶助を制度化したものです。さまざまな災害に対する経済的損失の補填と生活の安定を目的としたものであり、全圧連会員が「相互に助け合う」という精神が宿っています。

★将来発生するかもしれない事故に備え、会員があらかじめ一定の金額を拠出して協同の財産を準備し、万一の事態が発生したときにはそこから共済金を支払います。つまり、会員の誰かが困ったときに、他の会員が全体で助けるという制度です。

★全圧連の会員であれば、従業員だけでなく事業主・会社役員、単協事務局の役職員も加入することができ、業務時間を問わず24時間保障されます。

従業員が  
亡くなりました

病気等による死亡の場合、  
1口につき 200 万円の給付。  
不慮の事故による死亡の場合は、  
1口につき 300 万円を給付します。

全圧連の動き

9月

- 13日 第21回事務局長会議(長野)
- 15日 登録基幹技能者認定委員会⑤(東京)
- 18日 第60回技術委員会WG(東京)
- 19日 第69回経営委員会WG(東京)

10月

- 3日 中間会計監査・監事会(東京)
- 5日 登録基幹技能者更新講習(東京)
- 7日 常務会④・建機工との連絡会議(東京)
- 12日 登録基幹技能者更新講習(大阪)
- 18日 第23回理事会・代表者会議(高知)
- 26日 登録基幹技能者更新講習(福岡)

11月

- 8日 第22回若手幹部研修会(北海道)  
～9日
- 12日 第70回経営委員会WG(東京)
- 13日 建専連 全国大会(東京)
- 14日 第61回技術委員会WG(山形)
- 15日 第66回技術委員会(山形)
- 25日 第2回全国圧送技術大会  
キックオフ会議(東京)

12月

- 22日 登録基幹技能者更新講習(大阪)

1月

- 6日 登録基幹技能者認定委員会⑥
- 17日 第24回理事会・代表者会議・常務会⑤  
賀詞交歓会(東京)

今後の主な予定

2月

- 7日 第71回経営WG・第62回技術WG  
合同WG会議(神奈川)
- 17日 近圧協 第16回圧送技術研究会(大阪)
- 28日 第63回技術委員会WG(東京)
- 28日 全国圧送技術大会実行委員会①(東京)

3月

- 11日 第60回経営委員会(東京)
- 未定 常務会⑥・建機工との連絡会議(東京)

4月

- 14日 第25回理事会・代表者会議(東京)  
常務会①

5月

- 29日 第9回通常総会・常務会②

6月

- 12日 第61回経営委員会(札幌)

8月

- 29日 登録基幹技能者登録講習・試験(静岡)  
～9月1日

単協事務局移転のお知らせ

事務局移転 (2019年12月7日より)

広島コンクリート圧送協会

〒731-5115 広島市佐伯区八幡東2-18-11 (有)広島圧送内 TEL 082-928-1175 FAX 082-928-1176

全圧連会報 第58号

発行 一般社団法人 全国コンクリート圧送事業団体連合会

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-13-5 藤野ビル7階 TEL 03-3254-0731 FAX 03-3254-0732

Email: info@zenatsuren.com URL: https://www.zenatsuren.com

